

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	1812	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	環境経済部・商業観光課				
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市							
	⑤事業期間	平成23年度 ~		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.25人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	10,442千円		当該(開始)年度	(当初)	14,768千円 (うち人件費 2,225千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 我孫子市商業活性化ビジョン
(2) 目的	施策目的・展開方向	地域に密着した商業の活性化を図るため、個店の専門性の強化や我孫子市ふるさと商品の開発などによる特色ある商店づくりや、買い物しやすい環境づくりなど、事業者が市民、農業者などのさまざまな主体と連携しながら、消費者ニーズにあった新たな商業展開が行えるよう支援します。また、我孫子の観光資源をいか			事業目的	市内の目立つ空き店舗への出店を促し、商業の活性化および地元住民の買い物利便性の向上を図る。					
(3) 事業内容	内容	空き店舗の利用促進及び賑わいづくりのため、市内の空き店舗を活用し、出店した事業者に対して、店舗賃借料の一部及び改装費の一部を補助する。 ○補助金額(平成26年度より改正) ・店舗開店のための改装費の2分の1(上限40万円) ・賃借料の2分の1(上限5万円・交付決定を受けてから1年) 我孫子地区の空き店舗も増えており空き店舗となっている期間が長くなっていることから、平成28年度より我孫子地区(駅前除く)も補助対象地区とする。			当該年度執行計画	制度の利用促進(=空き店舗の解消)に向けてPRを行う。					
		当該年度活動結果指標	補助金の交付件数(=空き店舗への出店件数)	単位	件	想定値	0		実績値		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該(開始)年度	指定区域の空き店舗への出店を促し、地域住民の買い物環境の向上を図る。			直接	補助金の申請件数(=空き店舗への出店件数)		件	0	12		
3年後	指定区域の空き店舗への出店を促し、地域住民の買い物環境の向上を図る。			直接	補助金の申請件数(=空き店舗への出店件数)		件	0	8		
最終(概ね5年後)	指定区域の空き店舗への出店を促し、地域住民の買い物環境の向上を図る。			直接	補助金の申請件数(=空き店舗への出店件数)		件	0	8		
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		過年度申請分賃借料補助	6,366	過年度申請分賃借料補助	3,393	過年度申請分賃借料補助	3,393	過年度申請分賃借料補助	3,393		
		当該年度申請分賃借料補助	4,125	当該年度申請分賃借料補助	3,400	当該年度申請分賃借料補助	3,400	当該年度申請分賃借料補助	3,400		
		店舗開店のための改装費補助金 400,000円×12件	4,400	店舗開店のための改装費補助金 40万円×8件 * 40万円×3件(我孫子地区分改装費助) * 135万円(我孫子地区分家賃補助)	3,200 1,200 1,350	店舗開店のための改装費補助金 40万円×8件 40万円×3件(我孫子地区分改装費助) 135万円(我孫子地区分家賃補助)	3,200 1,200 1,350	店舗開店のための改装費補助金 40万円×8件 40万円×3件(我孫子地区分改装費助) 135万円(我孫子地区分家賃補助)	3,200 1,200 1,350		
予算(済)額	合計		14,891	合計	12,543	合計	12,543	合計	12,543		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%		
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%		
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%		
	一般財源	14,891		11,268	12,543		12,543	12,543			
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.2		0.25		0.25		0.25			
	正職員人件費	1,820		2,225		2,225		2,225			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	16,711		14,768		14,768		14,768				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	1,519.18千円/件		0千円/件								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)	地方では中心市街地の空洞化が問題になっている。我孫子市でも空き店舗が目立ち、商店の立地がまばらになっている地区もあり、地域住民のニーズに応えられる商業環境が整っていない状況にある。そのため、空き店舗への出店を促し、地域住民の買い物環境の充実および商業の活性化を図る必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 補助事業であり、市民の参加や協働にそぐわない						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か?	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	0	12	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(件)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか?	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	削減の内容		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	14,768	1,943	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		<超過理由等>				○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.08	単位 費用単位 件	●①単年度の指標: 目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標: (目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (1864), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and environment.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status and improvement directions.

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement and expansion directions).

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	1930	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	食品等の放射性物質検査(消費者対応)		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	環境経済部・商業観光課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成27年度 ~			⑥担当職員数	1人 (換算人数 0.1人)					
	⑦事業費(人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 3,050千円 (うち人件費 890千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	良好な生活環境を維持するため、定期的な環境調査や事業所などへの監視・指導を継続して行うとともに、路上喫煙、犬の糞害に対する指導、不法投棄と野焼きに対する監視や戸別指導を実施して、公害や生活環境の悪化を防止します。また、PM2.5や放射性物質などの新たな環境問題については、国、県、近隣自治体との連携などにおける食品等についての放射性物質の測定等、消費者の安全・安心の確保に向けた地方自治体の取り組み支援のため、消費者より簡易型放射性物質分析機器が貸与された。放射性物質検査は、民間企業へ受付、問い合わせ、分析検査、結果報告を業務委託して行う。分析検査対象は、我孫子市内消費者が口にする、自家栽培野菜などを含む食品及び飲料物である。福島第一原子力発電所事故による放射能の影響を確認するため、日々我孫子市内消費者の食品等の放射性物質検査を行い、市内消費者の食品等の安全・安心の確保を行う。			事業目的	福島第一原子力発電所事故による放射能の影響を確認するため、我孫子市内消費者の食品等の放射性物質検査を行い、市内消費者の食品等の安全・安心の確保を行う。					
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	我孫子市内消費者の食品等の放射性物質検査を行い、検査結果を公表することで市内消費者の不安の解消を図る。					
					当該年度活動結果指標	我孫子市内消費者の食品等の放射性物質検査件数	単位	件	想定値 500 実績値		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値 (6) 目標値		
当該(開始)年度	我孫子市内消費者の食品等の安全性の確認を行い、消費者の不安を解消する。				直接	我孫子市内消費者の食品等の放射性物質検査件数		件	1,700 1,200		
3年後	我孫子市内消費者の食品等の安全性の理解を得る。				直接	我孫子市内消費者の食品等の放射性物質検査件数		件	1,200 720		
最終(概ね5年後)	同上				直接	我孫子市内消費者の食品等の放射性物質検査件数		件	720 480		
(7) 事業実施上の課題と対応	福島第一原子力発電所事故による放射能の影響に不安を抱える消費者を放射性物質検査により安全性を確保していく。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		*	市内消費者の食品等の検査(受付事務経)	3,000	*	市内消費者の食品等の検査(受付事務)	2,160	*	市内消費者の食品等の検査(受付事務経)	2,160	
		予算(済)額	合計	3,000	合計	2,160	合計	2,160	合計	0	
		(9) 財源内訳	国庫支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
(10) 人件費等	国庫支出金 補助率 100%	2,999	補助率 100%	2,160	補助率 100%	2,160	補助率 0%	0			
	起債 充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0			
	一般財源	1		0		0		0			
	その他の財源 □特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	
換算人数(人)	0.1		0.1		0.1		0.1				
正職員人件費	910		890		890		890				
嘱託職員報酬額	0		0		0		0				
臨時職員賃金額	0		0		0		0				
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	3,910		3,050		3,050		890				
(11) 単位費用(事業費/活動結果指標)	3.91千円/件		6.1千円/件								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	福島第一原子力発電所の事故により飛散した放射性物質の影響が懸念されている中で、我孫子市内で消費される食品等への放射能の影響が、消費者へ不安を与えている現状である。そのため、我孫子市内消費者の食品等の放射能検査を実施し安全性の確保を行うことで消費者の不安の解消を図る必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>						
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		改善検討
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 簡易型放射性物質分析機器による検査のため市民の参加、協働ではできない。						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		改善検討
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 市内消費者の食品等の放射性物質検査を行うことで福島第一原子力発電所事故で飛散した放射性物質の食品等への与える影響を検査する。						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標達成 ○②目標未達成		改善検討
	1,700	1,200	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(件)	達成率(%) (b/f×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		改善検討
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		改善検討
	39.34	単位 費用単位 件 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (e/h)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	2024	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	マスコットキャラクターの活用		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	環境経済部・商業観光課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成27年度 ~			⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.25人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	1,000千円		当該(開始)年度	(当初)	3,906千円 (うち人件費 2,225千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	商業や農業などの地域産業の活性化を図るため、豊かな自然や農地、歴史・文化など既存の観光資源に加え、新たな観光資源の掘り起こしを行い、それらを積極的に活用していきます。また、我孫子市最大の観光資源である手賀沼周辺では、観光客をさらに呼び込み、もてなす環境づくりに取り組み、交流人口の拡大に努め、平成27年に市のマスコットキャラクター昇格した手賀沼のうなぎさんの貸出、また観光情報の発信やイベント等で活用し、市の観光PRツールの一つとする。			事業目的	観光PRキャラクターから平成27年度に市のマスコットキャラクターに昇格した手賀沼のうなぎさんを観光情報の発信やイベント等で活用し、市の観光PRツールの一つとする。					
(3) 事業内容	内容	商業や農業などの地域産業の活性化を図るため、豊かな自然や農地、歴史・文化など既存の観光資源に加え、新たな観光資源の掘り起こしを行い、それらを積極的に活用していきます。また、我孫子市最大の観光資源である手賀沼周辺では、観光客をさらに呼び込み、もてなす環境づくりに取り組み、交流人口の拡大に努め、平成27年に市のマスコットキャラクター昇格した手賀沼のうなぎさんの貸出、また観光情報の発信やイベント等で活用し、市の観光PRツールの一つとする。			当該年度執行計画	手賀沼のうなぎさんの貸出及び各種イベント参加インフォメーションセンターでのグッズ作成を働きかける。キャラクターグッズを作成および販売する。					
		当該年度活動結果指標	マスコットキャラクターの着ぐるみ貸出件数		単位	件	想定値	50			
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	市のマスコットキャラクター手賀沼のうなぎさんを観光情報の発信やイベント等で活用し、市の観光PRツールの一つとする。				直接	手賀沼のうなぎさんの着ぐるみ貸出件数		回	0	50	
3年後	手賀沼のうなぎさんを観光情報の発信やイベント等で活用し、市の観光PRツールの一つとする。				直接	手賀沼のうなぎさんの着ぐるみ貸出件数		回	0	60	
最終(概ね5年後)	手賀沼のうなぎさんを観光情報の発信やイベント等で活用し、市の観光PRツールの一つとする。				直接	手賀沼のうなぎさんの着ぐるみ貸出件数		回	0	70	
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ○無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		*: 観光PRキャラクターグッズ作成(販売)	1,283	手賀沼のうなぎさんのグッズ作成委託	997	手賀沼のうなぎさんのグッズ作成販売	997	手賀沼のうなぎさんのグッズ作成販売	997		
		*: 観光PRキャラクターグッズ販売手数料	129	手賀沼のうなぎさんグッズ販売手数料	100	手賀沼のうなぎさんグッズ販売手数料	100	手賀沼のうなぎさんグッズ販売手数料	100		
		*: 手賀沼のうなぎさん商標登録(出願)	222	着ぐるみクリーニング代	59	着ぐるみクリーニング代	59	着ぐるみクリーニング代	59		
*: 手賀沼のうなぎさん商標登録(登録)	377	着ぐるみ作成	525								
*: 手賀沼のうなぎさんデザイン制作報酬	50										
予算(済)額	合計		2,061	合計		1,681	合計		1,156		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%		
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%		
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%		
	一般財源		651		585		1,156		1,156		
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他	1,410	□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他	1,096	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.2		0.25		0.25		0.25		
	正職員人件費		1,820		2,225		2,225		2,225		
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0		
	臨時職員賃金額		0		0		0		0		
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)		3,881		3,906		3,381		3,381		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			77.62千円/件			78.12千円/件					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	観光PRツールの一つとして市のマスコットキャラクターを様々なイベント等で活用していく。観光PRキャラクターから市のマスコットキャラクターに昇格した手賀沼のうなぎさんをPRするため、平成27年に引き続きグッズ作成・販売を行うとともに市内外のイベント等に活用する。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 市民に貸出することで、より手賀沼のうなぎさんのPRに繋げる						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(回)	目標値(b)(回)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成	
	0	50	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(回)	(f/b)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100		○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	1.28	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100			

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------